

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATB011	心理学方法論I	1	2.0	1	春AB	火1,2	3A312	濱口 佳和	心理学の測定から解析に至るさまざまな方法論(心理学的測定・調査・実験・観察・相互作用分析など)を集中的に学び、社会・人間事象を解析しうる十分な技能の修得をはかる。研究者としての研究倫理、人を対象とする研究における研究倫理の重要性をふくめた講義を行う。	01EE001と同一。
OATB012	心理学方法論II	1	2.0	1	秋AB	火1,2		濱口 佳和	心理学の測定から解析に至るさまざまな方法論(心理学的測定・調査・実験・観察・相互作用分析など)を集中的に学び、社会・人間事象を解析しうる十分な技能の修得をはかる。この講義の一環として修士論文の中間発表会、最終口答試問の聴講も行う。	01EE002と同一。
OATB021	心理学特別研究A	3	2.0	2	春ABC	随時		濱口 佳和	修士論文作成のための科目である。特定テーマを選び、関連する問題領域のレビューを行い、修得した心理学方法論に基づき調査・実験などを実施する。論文としてまとめて研究基礎能力の修得をはかる。博士前期課程1年目春学期に実施する。5月に実施される修士論文構想発表の事前事後指導を中心に指導を行う。	
OATB022	心理学特別研究B	3	2.0	2	秋ABC	随時		濱口 佳和	修士論文作成のための科目である。特定テーマを選び、関連する問題領域のレビューを行い、修得した心理学方法論に基づき調査・実験などを実施する。論文としてまとめて研究基礎能力の修得をはかる。博士前期課程1年目秋学期に実施する。修士論文の提出まで、ならびに最終口答試問のための指導を中心に指導を行う。	
OATB023	心理学特別研究S	3	2.0	2	通年	応談		濱口 佳和	修士論文作成のための科目である。特定テーマを選び、関連する問題領域のレビューを行い、修得した心理学方法論に基づき調査・実験などを実施する。論文としてまとめて研究基礎能力の修得をはかる。留学、休学などの個人的事情により、心理学特別研究AないしBが履修できない学生について、博士前期課程2年目以後に心理学特別研究AないしBの代替科目として特に学位プログラム教育会議から許可を得た者を対象として実施する。	
OATB031	心理学先端研究1	1	1.0	1・2	通年	集中			心理学研究における最先端の研究者を迎え、そのテーマについて集中的に講義を受け、議論をし、自らの研究推進に資する知識・考え方を獲得する。主として心理学全体の方法論や研究の在り方に関する世界的動向について、先端的研究者による講義・議論を通じて学び、心理学研究をする上での基盤としていくことを目的とする。	
OATB032	心理学先端研究2	1	1.0	1・2	通年	集中			心理学研究における最先端の研究者を迎え、そのテーマについて集中的に講義を受け、議論をし、自らの研究推進に資する知識・考え方を獲得する。主として認知・知覚、社会・教育・発達、臨床の各領域での先端的研究者による講義を設置し、現在の研究展開の在り方に関する世界的動向を、講義・議論を通じて学び、心理学研究をする上での基盤としていくことを目的とする。	
OATB041	心理学キャリア形成	1	1.0	1・2	通年	集中			心理学の専門性を活かした職業について具体的に理解をし、主体的に考えることを目的とした高度専門職行事のためのキャリア育成科目である。国内外の企業・官公庁や非営利団体などの現場において、心理学関連職として最先端で活躍する講師を招き、その講義を聴き議論をすることにより、将来の進路決定に役立てると共に、心理学という研究領域とその社会との関連性についての考察を深める。	
OATB042	心理学インターンシップ	3	1.0	1・2	通年	応談		濱口 佳和	心理学の専門性を活かした職業について、実体験的に学び、その体験から心理学の学修・研究のあるべき姿を考えるための実習である。国内外の企業・官公庁や非営利団体などの現場において、心理学関連職としての就労体験を通じて、自らの能力適養・適性の客観評価を図る。同時に、将来の進路決定に役立つ体験としても位置づける。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATB051	心理基礎科学演習I	2	2.0	1	春AB	水3,4		相川 充, 原田 悦子, 茂呂 雄二, 大山 潤爾, 外山 美樹, 登藤 直弥, 佐藤 有耕, 松田 壮一郎	心理学基礎科学の各領域について、専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導までに必要な情報収集、論文購読、批判的読解と展開などを行う。博士前期課程1年目春学期に実施するため、特に研究計画を立て、実施の準備を行っていくまでを中心に指導を行う。	
OATB052	心理基礎科学演習II	2	2.0	1	秋AB	水3,4		相川 充, 原田 悦子, 茂呂 雄二, 大山 潤爾, 外山 美樹, 登藤 直弥, 佐藤 有耕, 松田 壮一郎	心理学基礎科学の各領域について、専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導までに必要な情報収集、論文購読、批判的読解と展開などを行う。博士前期課程1年目秋学期に実施するため、特に自らの研究計画に基づきながら、研究導入とその際に必要な技能・知識の獲得方法を中心に指導を行う。	
OATB053	心理基礎科学演習III	2	2.0	2	春AB	水3,4		相川 充, 原田 悦子, 茂呂 雄二, 大山 潤爾, 外山 美樹, 登藤 直弥, 佐藤 有耕, 松田 壮一郎	心理学基礎科学の各領域について、専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導までに必要な情報収集、論文購読、批判的読解と展開などを行う。博士前期課程2年目春学期に実施するため、特に実際の研究を実施していきながら、その方法論や分析を自らモニターしていく方法とそれに必要とされる知識・技能の獲得の方法を中心に指導を行う。	
OATB054	心理基礎科学演習IV	2	2.0	2	秋AB	水3,4		相川 充, 原田 悦子, 茂呂 雄二, 大山 潤爾, 外山 美樹, 登藤 直弥, 佐藤 有耕, 松田 壮一郎	心理学基礎科学の各領域について、専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導までに必要な情報収集、論文購読、批判的読解と展開などを行う。博士前期課程2年目秋学期に実施するため、特に研究計画に基づきながら、実施した研究成果をどのように整理をし、一つの論文としてまとめ上げていくかについて、具体的な指導を行う。	
OATB060	心理統計学基礎	1	2.0	1	春B	木7,8 土4,5		藤 桂, 藤生 英行	社会科学における統計学の用い方の基礎を解説する。本講義は、「社会調査法」「データ解析法」履修のための基本要件である。	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻カウンセリングコース、心理学学位プログラム(博士前期課程)の在籍生に限る。 01EJ115、OATD321と同一。 ・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻カウンセリングコースの在籍生に限る。
OATB061	心理基礎科学英語1	2	1.0	1・2	春学期	随時		濱口 佳和	心理学の研究法ならびに最先端の研究成果について、Web教材、ビデオ教材等を用いて英語で学習し、広く心理学が関係する領域全体を対象として、国際レベルの知識を体系的に身につけていくことを目的とする。加えて、英語で国際的な視点、方法で情報発信していくための基礎技能を身につける。	英語で授業。
OATB062	心理基礎科学英語2	2	1.0	1・2	秋学期	随時		濱口 佳和	心理学の研究法ならびに最先端の研究成果について、Web教材、ビデオ教材等を用いて英語で学習し、特に自分自身の研究興味に関連する領域について、国際レベルの知識を体系的に身につけていくことを目的とする。加えて、英語で国際的な視点、方法により情報発信していくための基礎技能を身につける。	英語で授業。
OATB071	感覚知覚心理学特講	1	2.0	1・2	夏季休業中	集中		綾部 早穂	情報処理論的アプローチに基づき、感覚、選択、記憶、解釈、反応に関する基本的情報処理過程を探る。前年度に発表された海外雑誌論文の中から数報を選び、様々な観点から最新のデータと解釈、知見を学び、討論を行うことにより人間の情報処理の働きの理解を深める。	01EE101と同一。 8/22, 24, 26, 31, 9/5
OATB072	心理学と認知支援工学特講	1	2.0	1・2	通年	集中		大山 潤爾	感覚知覚心理学や認知心理学の実験心理学的アプローチを応用して、産業界や社会の課題に対するソリューションを提供できる研究の考え方、進め方について解説する。講義に加えて、受講生参加型ディスカッションと体験実習を含む。具体的には、2例以上の企業との実際の共同研究事例に基づいて、ニーズの抽出・心理学的知見との対応・共同研究のテーマと目標の設定・実験計画・データ解析・結果の解釈までをロールプレイ等を変えて学ぶ。	01EE111と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATB073	認知心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	月5.6		原田 悦子	Psychonomic Society、Cognitive Science等各種雑誌等の認知心理学研究の文献をとりあげ、それに基づき議論を中心に行う。毎回の授業では、1本の論文をとりあげ、当該の文献内容のレビューをしながら、認知心理学における考え方の枠組・前提を明確化する。当該論文における問題のとらえ方の特徴とその詳細化を把握し、具体的な研究方法とその分析の方法、得られた結果からの展開の仕方について、批判的に検討する。レビュー担当を務める者は、その論文の背景となる関連研究についても広く深く検討をしていくことが求められる。	01EE104と同一。
OATB074	学習心理学特講	1	2.0	1・2	春AB	木3.4		茂呂 雄二	学習心理学の最新の成果である、状況的学習論について解説する。状況的認知、活動理論、アクターネットワーク理論と学習環境のアレンジメント、パフォーマンス心理学等、最近の状況的学習研究について論じる。この研究トレンドの元元にある、レフ・ヴィゴツキーの発達の学習論やヴィトゲンシュタインの言語論等基礎となる考え方、相互行為分析等の状況的学習研究のための方法論、実際に教員が教室で利用できるように開発されたパフォーマンスゲーム等についても解説する。	01EE110と同一。
OATB081	教育心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	金3.4		外山 美樹	教育心理学の分野の文献を講読し、教育心理学の方法論や最新の研究成果についての知識を深める。また、授業を通して、発表レジュメのまとめ方、プレゼンテーションの仕方といったような卒業研究に結びつくようなスキルの獲得を目指す。具体的には、教育心理学のテーマに関する論文(英文を含む)や専門書を担当受講生が発表し、そのテーマについて受講者全員で討論する。各受講生が興味を持つ論文(英語、日本語)を2本ずつ程度発表する予定である。	01EE201と同一。
OATB082	行動デザイン特講	1	2.0	1・2	秋AB	火5.6		松田 壮一郎	人間行動の記述、予測、制御を目的とした応用行動分析学を中心に据え、「行動」の機能を分析することを達成目標とする。また、最新の発達研究を行動分析的観点から読み解くことにより、新たな研究パラダイムを創出することも目的とする。行動変容に用いることができる最新のテクノロジーを概観すると共に、他分野(医学・工学など)との協働を通じた新しい研究、及びビジネスの可能性を、ディスカッションを通じて探っていく。他分野との協働により、人の行動変容について、新たな視点を提供し、行動のデザインを共に創造していく。	01EE213と同一。
OATB083	青年心理学特講	1	2.0	1・2	春AB	火3.4	人間A202	佐藤 有耕	青年心理学に関する重要な文献を教材として、青年心理学に関する知見を深める。すなわち、青年とは誰か、青年期あるいは思春期とはどのような時期かについて心理学的に理解を深め、さらに青年の心理を理解するための多様な観点について身につけ、自分の研究に活用できるようにする。講読する文献は、学位論文などの重厚な研究の購読を基本とし、それ以外にも青年心理学の古典、体系的なテキスト、レビュー論文、最新の学会誌論文、隣接する学問領域の文献などを含める。少人数で実施し、発表や討論などを活発に行う学生参加型の授業とする。	01EE210と同一。
OATB091	社会心理学特講	1	2.0	1・2	春AB	木5.6	人間A321	相川 充	対人社会心理学に関する研究成果に関する最近の英語論文を紹介し合い、この分野についての理解を深める。文献は、審査付き学術雑誌に掲載された英語論文とする。受講者は、順番に論文紹介者となり、1本の英語論文の中身を紹介するレジュメを作成する。論文紹介後は、紹介者とほかの受講者との間で討論を行い、紹介した論文の問題点、質の高い論文にするための修正点を提案し合う。	01EE301と同一。
OATB092	臨床社会心理学特講(心の健康教育に関する理論と実践)	1	2.0	1・2	秋C	集中		沢宮 容子	心の健康教育に関する概念や理論への理解を深め、心身の健康の維持増進やストレスマネジメント、ウェルビーイングへと結びつく具体的な実践的なアプローチを学習する。特に身体心理学の観点から、身体技法を通して感情制御に結びつく体験的気づきを得ることで、「こころ」と「からだ」への実践的理解を深める。受講者は、関連テーマをまとめて発表し、他の受講者との間で討論する。	01EE307と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATB101	臨床心理学特講I	1	2.0	1	春AB	金3,4	人間A202	濱口 佳和	臨床心理学及び心理臨床実務の基礎知識の獲得を目指す。内外における臨床心理学の成り立ち、臨床心理学の領域、臨床心理学の方法論、心理臨床の職業倫理、心理臨床家の職業的発達等について、講義と内外の文献精読・討論を行う。以上に加え本講義では、臨床心理学及び心理臨床実務の中で、特に遊戯療法と箱庭療法の理論と実際について講義と内外の文献精読、演習、DVD視聴を通じて理解を深める。さらに、(公財)日本臨床心理士資格認定協会の定める臨床心理士の業務についても講義し、公認心理士との異同について説明する。	01EE420と同一。
OATB102	臨床心理学特講II	1	2.0	1	秋AB	火5,6		沢宮 容子	臨床心理学特講Iに引き続き、臨床心理学及び心理臨床実務の基礎知識の獲得を目指す。内外における臨床心理学及び心理臨床実務における主要な流派の理論と実際、特に、精神分析的療法、来談者中心療法、行動療法、認知行動療法、日本の心理療法について、講義と内外の文献精読・討論を通して理解を深める。公認心理師法、公認心理師の職責、公認心理師の活動5領域についても講義と討論を行う。	01EE421と同一。
OATB103	臨床心理面接特講I(心理支援に関する理論と実践)	2	2.0	1	春AB	木5,6	人間A202	青木 佐奈枝	心理臨床における面接法の基本的な知識とスキルを習得することを目的とする。授業前半は、心理面接に関する基礎の概説。また、関連文献の発表及び討論を行う。後半は、ミニ・カウンセリングを行い、実際の面接方法について体験的な学習を行う。	
OATB104	臨床心理面接特講II	2	2.0	1	春C	火・金3,4	人間A202	杉江 征	この授業では、心理臨床における面接法の基本的な知識とスキルを習得することを目的とする。そのため、授業では、ミニ・カウンセリングを行い、実際の面接方法に関する体験的な学習を行う。	
OATB111	臨床心理基礎実習	3	2.0	1	春AB秋AB	木3,4		濱口 佳和, 沢宮 容子, 杉江 征, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 安 婷婷, 慶野 遥香, 田附 あえか, 田中 崇恵, 伊里 綾子, 小川 俊樹, 中村 聡美	心理的問題を抱えた学外者に有料で相談に応じている心理相談室を用いて実習を行う。教員のインテークに同席し、またインテークカンファレンスに出席してケースを臨床心理学的に見立てる力を養う。	01EE440と同一。
OATB112	臨床心理実習I(心理実践実習IIC)	3	2.0	2	春AB秋AB	木4		沢宮 容子, 杉江 征, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 安 婷婷, 慶野 遥香, 田附 あえか, 田中 崇恵, 伊里 綾子	心理的問題を抱えた学外者に有料で相談に応じている心理相談室を用いて臨床支援技術の習得を目的とした実習を行う。実習ではケースを直接担当し、ケースカンファレンス等を通して、相談者の問題や障害に関する理解を深め、心理療法を行うのに必要な技能の習得に努める。	01EE441と同一。
OATB113	臨床心理実習II	3	2.0	2	春AB秋AB	木3		沢宮 容子, 杉江 征, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 安 婷婷, 慶野 遥香, 田附 あえか, 田中 崇恵, 伊里 綾子	臨床心理実習IIに引き続き、心理的問題を抱えた学外者に有料で相談に応じている心理相談室を用いて臨床支援技術の修得を目的とした実習を行う。実習ではケースを直接担当し、相談者の問題や障害に関する支援アプローチについてグループスーパービジョン及び個別スーパービジョンを通して学ぶ。心理療法を行うのに必要な技能の習得に努める。	01EE442と同一。
OATB114	発達臨床心理実習I(心理実践実習IID)	3	2.0	2	春AB秋AB	木3		濱口 佳和, 庄司 一子, 沢宮 容子, 菅原 大地	教員のスーパービジョンの下に、心理的・行動的問題を抱えた幼児・児童・青年とその保護者を対象として、学内の有料相談機関で臨床心理学的支援活動に参加する。受講生は1ケースごとに構成される支援チームに加わり、受理面接、継続面接、検査面接等の実地体験を積む。支援チームはセラピスト、観察者、親面接陪席者等の役割があり、様々なケースに参加する。プレイ・セラピー、行動療法、SEL、ペアレント・トレーニング等の理論と技法の学習を深める。1セッションあたり事前学習、心理的支援面接、事後学習があり、相談室ケースカンファレンスへの出席も含める。	01EE443と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATB115	発達臨床心理実習II	3	2.0	2	春AB秋AB	木7		濱口 佳和, 庄司一子, 沢宮 容子, 菅原 大地	教員のスーパービジョンの下に、心理的・行動的問題を抱えた幼児・児童・青年とその保護者を対象として、学内の有料相談機関で臨床心理学的支援活動に参加する。受講生は1ケースごとに構成される支援チームに加わり、受理面接、継続面接、検査面接等の実地体験を積む。支援チームはセラピスト、観察者、親面接陪席者等の役割があり、様々なケースに参加する。プレイ・セラピー、行動療法、SEL、ペアレント・トレーニング等の理論と技法の学習を深める。1セッションあたり事前学習、心理的支援面接、事後学習があり、相談室の専任・非常勤相談員によるグループ・スーパービジョンへの出席、発表、討論への参加も含める。	01EE444と同一。
OATB116	臨床心理査定演習I(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	2.0	1	春C秋C	集中		濱口 佳和	臨床心理学の研究法で、同時に様々な心理臨床の現場で不可欠の技術でもある心理学的査定理論と方法について学ぶ。演習Iでは、WISCや田中ビネー等の個別式知能検査、発達検査、ASDやADHDのスクリーニング検査、CBCL等の子どもの問題行動の概括的な評定尺度を扱う。理論的に学習するとともに、グループによる実技指導を通じて検査の具体的手続き等、査定技術の習熟を目指す。	01EE406と同一。
OATB117	臨床心理査定演習II	2	2.0	2	春AB	火5,6		青木 佐奈枝	臨床心理支援において必須とされる心理査定法(検査法)のうち、特にパーソナリティ検査についてその理論と実践方法を学ぶ。MMPI、P-Fスタディ、SCTやロールシャッハ・テストなど質問紙法、投影法について理論を学ぶと共に試行方法、結果のまとめ方、解釈、フィードバックの仕方を理解する。さらに、テストバッテリーを用いた事例検討を通して複合的アセスメントおよび支援への活用について習熟を目指す。	01EE407と同一。
OATB121	児童臨床心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開X)	1	2.0	1・2					児童虐待、不登校、選択性緘黙、いじめ、非行等、学齢期に好発する児童・青年の心や行動の諸問題について書かれた内外の専門書、雑誌論文などを担当を決めて輪読する。これを通して、家庭と学校における子どもの問題行動や精神疾患に対する取り組みについて、理論と介入方法についての知見の獲得を目的とする。	01EE409と同一。 2020年度開講せず。
OATB122	発達臨床心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開Y)	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4		濱口 佳和	幼児期から青年期までの子どもの心や行動の諸問題について書かれた内外の専門書、雑誌論文などを取り上げ、担当を決めて輪読する。これを通して、発達精神病理学の基礎理論、発達臨床心理学の研究法、発達障害、反抗挑戦性障害、うつ病性障害、不安障害等を中心に、病態、アセスメント、介入法などについての知見の獲得を目的とする。	西暦偶数年度開講。 01EE410と同一。
OATB123	アセスメント心理学特講I	1	2.0	1・2	春AB	木1,2		青木 佐奈枝	臨床心理支援において必須となる心理アセスメントのうち、主にロールシャッハ・テストについてその理論背景と理論について学び、施行法、スコアリング、結果の整理の仕方、解釈法(質的解釈・継列分析)について学ぶ。また、ロールシャッハ・テストから得られる情報と各種アセスメントやその他の臨床情報の複合解釈の方法と実際について、特に、質的分析、継列分析、プロトコル分析を中心に学ぶ。進める。	西暦偶数年度開講。 01EE415と同一。
OATB124	アセスメント心理学特講II	1	2.0	1・2					臨床心理支援において必須となる心理アセスメントのうち、主にロールシャッハ・テストについてその理論背景と理論について学び、施行法、スコアリング、結果の整理の仕方、解釈法(主に数量的解釈)について講義や実習、事例解釈を通して学ぶ。また、ロールシャッハ・テストから得られる情報と各種アセスメントやその他の臨床情報の複合解釈の方法と実際について、特に、数量的解釈を中心に学ぶ。	01EE425と同一。 2020年度開講せず。
OATB125	精神医学(保健医療分野に関する理論と支援の展開X)	1	1.0	1・2	通年	集中		白鳥 裕貴	精神医学の枠組みについて理解を深めるとともに、精神医学の理論、アセスメント、治療について学ぶ。精神医学総論、アルコール・薬物依存、児童・思春期の精神疾患、気分障害、統合失調症、認知症、心因性精神障害、摂食障害、パーソナリティ障害、気分障害、医療連携、治療等について現役の精神科医が講義を行う。	履修は心理学学位プログラム(博士前期課程)の心理臨床学サブプログラムの正規生に限る 西暦偶数年度開講。 01EE424と同一。 1/8, 12, 14, 19, 21, 22, 25

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATB126	神経心理学特講(保健医療分野に関する理論と支援の展開Y)	1	1.0	1・2					神経心理学に関する最新の文献を取り上げて討論し、臨床心理学に関連する生物学的・神経科学的知識ならびに研究方法について学び、理解を深める。受講する学生が興味・関心のある学術論文、または専門書籍の章を担当・紹介し、受講生全員で討論する。	01EE435と同一。 2020年度開講せず。
OATB131	産業臨床心理学特講(産業・労働分野に関する理論と支援の展開Y)	1	2.0	1・2	通年	随時		大塚 泰正	本講義では職場のメンタルヘルスに関する一次予防から三次予防までの幅広い話題(カウンセリング、教育研修、職場復帰支援など)について解説する。単に講師が講義を行うだけでなく、受講生参加型の講義を行う。なお、職場のポジティブ・メンタルヘルスに関するグループまたは個人発表が課される。	01EJ180、OATD306と同一。 ・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。 ・2021年度から隔年開講
OATB132	学校心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開Z)	1	2.0	1・2	春AB	水1,2	8B210	飯田 順子	授業の目標は、次の4つである。 1学校心理学の基礎概念について理解する。 2学校心理学が扱う領域に含まれる様々なトピックについて理解を深める(不登校、発達障害など)。 3学校心理学のなかで行われている最新の研究について学ぶ。 4心理教育的援助サービスの技法(アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション)を学ぶ。 子どもが出会う問題状況の解決や成長の促進を目指す援助サービスの理論と実践を支える学問体系である学校心理学について、その理論や心理教育的援助サービスの実際について講義で学ぶと同時に、学校心理学の中心概念である「援助サービス」についてロールプレー等を交えて実践力を高める。	01B2021、OATB02と同一。
OATB133	老年心理学特講	1	2.0	1・2	春C	火・木7,8	1F118講義室	大川 一郎	人間の生涯的発達の中での特に中高年期に焦点を当てる。「生まれてから死ぬまでの生涯発達の過程における中高年期の位置づけ」「その心理的な意味」「老いるとはどういうことなのか」「加齢に伴い、身体機能、知的機能はどう変化していくのか」「また、そのことが日常生活上にどのような変化をもたらすのか」そして、これらの知見を踏まえた上で、問題を抱えた高齢者をどのように理解し、どのように対応していったらいいのか」などのテーマについて実習や事例検討も含めて考えていきたい。	01EJ104、OATD302と同一。
OATB134	キャリアカウンセリング特講(産業・労働分野に関する理論と支援の展開X)	1	2.0	1・2	秋AB	土4,5	1F118講義室	岡田 昌毅	キャリア・カウンセリングの基礎である「キャリアの心理学」を概説し、その理論的背景であるキャリア関連の諸理論・アプローチを紹介する。さらに実際のキャリア・インタビューを通じて、諸理論・アプローチの現実への応用についてグループ毎に整理し、全体発表・討議を実施する。	01EJ110、OATD308と同一。
OATB135	非行・犯罪心理学特講(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1	2.0	1・2	秋AB	火7,8	1F118講義室	原田 隆之	非行・犯罪について、心理学的な観点から、社会的な不適応行動としてとらえ、その要因を生物学的、心理学的、社会的観点から多面的にとらえるとともに、非行・犯罪のアセスメント、治療方法について実践的に解説する。	01EJ183、OATD311と同一。
OATB141	臨床心理家族・地域援助特講(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4		田附 あえか、杉江 征	家族関係等集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法、および地域社会や集団・組織に働きかける心理学的援助に関する理論と方法を学び、演習等を通して心理臨床実践に活かす。	西暦偶数年度開講。 01EE430と同一。
OATB142	心理実践実習IA	3	2.0	1	通年	随時		沢宮 容子、杉江 征、濱口 佳和、青木 佐奈枝、菅原 大地、慶野 遥香、田附 あえか、田中 崇恵、小川 俊樹、中村 聡美	年間を通じて行われる心理相談室及び子ども相談室の運営・管理業務実習、電話受付実習、インテーク実習(陪席)・各ケースの支援実習を通して、心理支援の基礎を学ぶ。随時グループ・スーパービジョンや個別スーパービジョンを通して、臨床支援原則の理解、地域連携の実際について学ぶ。	01EE450と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATB143	心理実践実習IB	3	2.0	1	通年	随時		沢宮 容子, 杉江 征, 濱口 佳和, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 慶野 遥香, 田附 あやか, 田中 崇恵, 中村 聡美	医療機関等外部実習先の心理面接や心理検査実習、その他の実習、そして実習後のスーパービジョンを通して、個別ケースの支援の実際を学ぶとともに、多職種との連携を実践的に学ぶ。その他相談機関の見学等実習を通して、心理援助職の役割や責務、支援原則など幅広い臨床実践について学ぶ。	01EE451と同一。
OATB144	心理実践実習IIA	3	2.0	2	通年	随時		沢宮 容子, 杉江 征, 濱口 佳和, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 慶野 遥香, 田附 あやか, 田中 崇恵, 中村 聡美	年間通じて行われる学内の心理相談室及び子ども相談室における個別ケースを担当する。心理相談室では主に青年・成人を対象とした面接実習を行い、子ども相談室では、子どもへの心理実践としては、プレイセラピー、行動療法、社会・情緒的教育の担当、行動観察、保護者面接陪席が、保護者には育児相談を行う。実習後に行われるグループスーパービジョン及び個別スーパービジョンを通して、心理支援の基礎・実践についての理解を深める。	01EE452と同一。
OATB145	心理実践実習IIB	3	2.0	2	通年	随時		沢宮 容子, 杉江 征, 濱口 佳和, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 慶野 遥香, 田附 あやか, 田中 崇恵, 小川 俊樹, 中村 聡美	医療相談機関等による実習を通して以下を学ぶ。 1クライアント情報を基に見立て、導入面接、検査実施、報告書作成をスーパービジョンを受けながら行う。2受診陪席やデイケア実習などを通して、個別ケースの支援の実際を学ぶ。3多職種連携の実際を学ぶ。	01EE453と同一。
OATB146	心理臨床I	1	1.0	1・2	通年	随時		小川 俊樹	心理臨床のアセスメントについての特別な理論や技法を学ぶ。特に医療機関などで高頻度で使用される心理検査(WISC等個別式知能検査、ロールシャッハ・テスト等の投射法検査)を取り上げ、現場における実施上の留意点、検査結果のまとめ、所見の書き方等、実際の心理臨床の現場で通用する水準の技能を指導する。受講生が現場で実施した検査の報告書にもとづいて、討論とスーパービジョンを行う。	01EE417と同一。
OATB147	心理臨床II	1	1.0	1・2	通年	随時		小川 俊樹	心理臨床の面接や心理療法についての特別な理論や技法について学ぶ。特に医療機関などで高頻度で使用される心理療法を取り上げ、現場における実施上の留意点、事例報告のまとめ方等、実際の心理臨床の現場で通用する水準の技能を指導する。受講生が現場で実施した検査の報告書にもとづいて、討論とスーパービジョンを行う。	01EE418と同一。